



広報

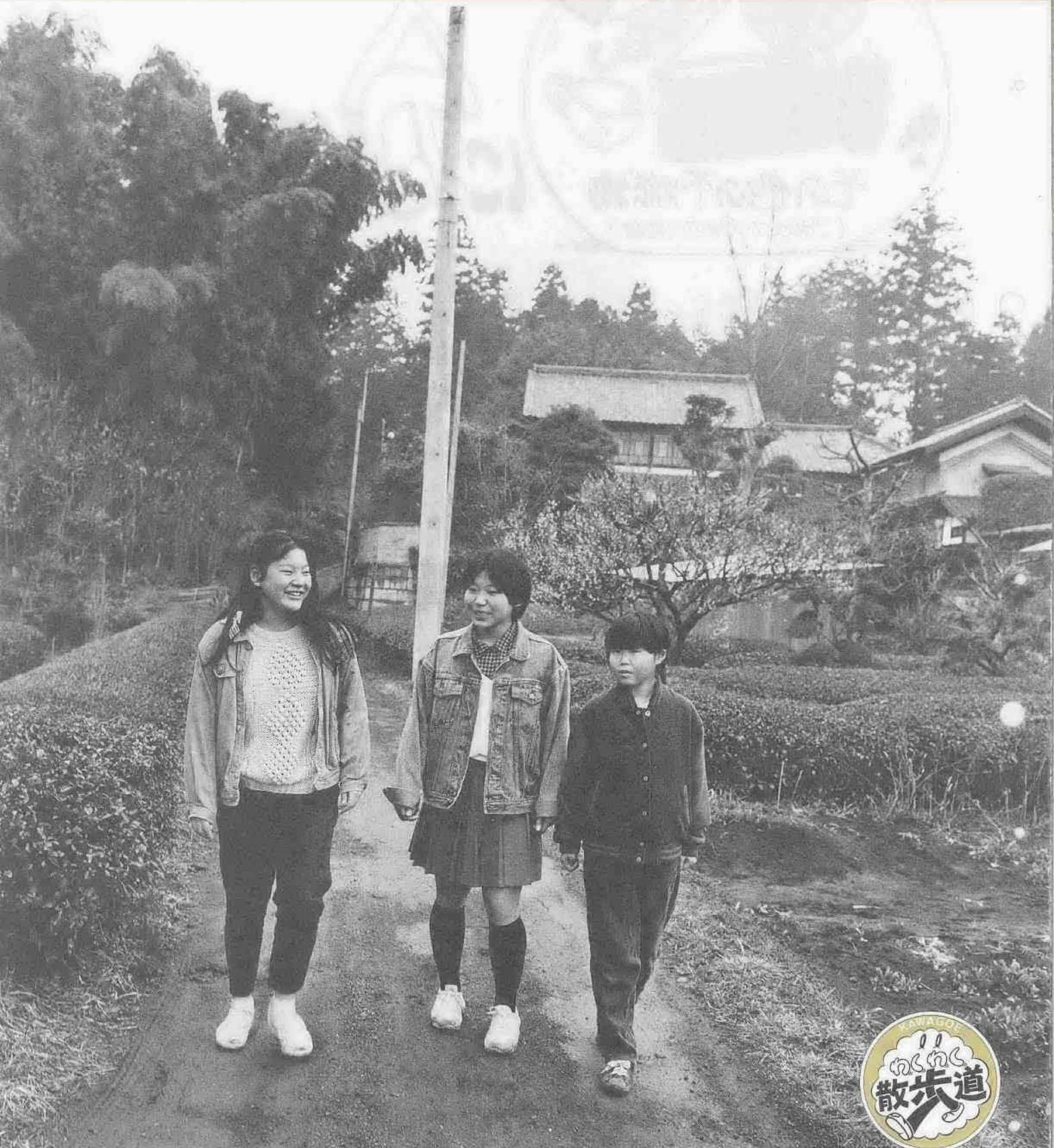
川越

一川越市民憲章(抜粋)

- 1.郷土の伝統をないせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1.自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1.きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1.働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1.教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

平成
二年 3月10日号

No.738



シリーズ44 筏橋西部を歩く(開運石門ガーデン)
雨上がりの小道を少女たちが歩いています

ごみ収集 Q&A

Q. 水銀含有ごみの収集は?

A. 従来どおり2か月に1度収集

電池や蛍光灯、体温計などのように、水銀を含んでいるごみは、そのまま処理されると環境を汚染する心配があります。そこで、本市では昭和59年度から、水銀含有ごみを分けて集めています。収集は、2か月に1回。「不燃物・びん・カン収集日程表」の不燃物収集日の○印の付いた日に出してください。この際、ほかのごみと区別しやすくするために、市で支給した黄色のポリ袋か、中が見える袋に入れてください。

Q. ビン以外のガラスの収集は
A. その他の不燃物として出す

分別収集された空きビンは、そのまま使えるものはビンのまま売却され、割れたものは再生用として回収業者に引き取られます。

今回の分別で、ガラス製品のうちビンに限つたのは、ほかのガラスには不純物が含まれ再生に適さないものがあることなどが理由です。

ビン以外は、ガラス製品であっても、その他の不燃物として出してください。

Q. 集団回収にはどんな効果が
A. ごみの減量と地域づくりなど

集団回収は、子供会、PTA、自治会などの団体が古紙・ビン・カンなどの資源ごみを回収、売却することです。

集団回収で得られるものは、次の三つ。
①資源の再利用⇒エネルギーの節約・自然保護
②ごみの減量⇒ごみ処理経費の軽減
③コミュニティ活動⇒収益金・会員間の連帯・物を大切にする意識の育成

集団回収は、私たち一人一人にメリットがあるのです。市でも報償金制度で応援しています。

なお、4月上旬から各地を回り、集団回収の説明会を開きます。日程など、詳しいことは、3月25日号の広報で紹介します。

問合先…環境整備課
内線243



4月1日から不燃物の
分別収集が始まります

にかけてください

川越市が、昭和六十二年度に収集したごみは約九万七千トン。このうち、不燃物は約一万五千トンでした。不燃物は、西清掃センターに集められ、手選別によって、有価物(ガラス・金属類)、混ざっていた可燃物、その他の不燃物の三種類に分けられ処理されています。この有価物は資源として回収業者に売却され、再利用されています。昨年度の実績によると、この量は、不燃物全体の三六・八%で、五千七百トンでした。

ビン・カンとその他の不燃物との分別収集は、清掃センターの業務の効率化を図り、有価物の再利用化を促すために行うものです。

ここ数年、市が収集したごみの量は下表のとおり。好景気を反映してか、ここ数年急増しているのがわかります。処理経費も増え続け、昨年度は二十四億円でした。市民一人当たりでは、約八千円。

増える、ごみ量と経費

理費用がかかるごみも、それを生かすことで貴重な資源になり、また地球の環境保全に、わずかではあっても役に立ちます。

また、有価物の売却代も少なくありません。昭和六十三年度に市が売却した有価物の代金は二百七十四万円でした。

今回、分別されることになったビン・カンは、子供会や自治会などで行う集団回収でも集めています。古紙や衣類などとともに、回収すると、回収業者からの代金とは別に、市からの報償金制度もあります。

ただし、集団回収では集めてもられない割れたビンやカン類は、

「ビン・カンの日」に集めますので、決められた日に、集積所に出してください。

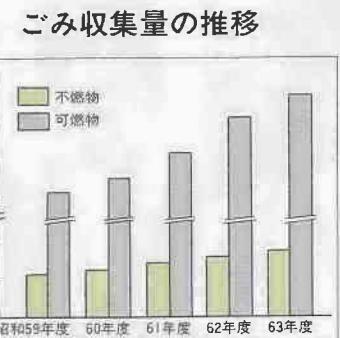
ステッカーを配布

ビン・カンの分別収集は、平成二年から始める新しい方法です。市民のみなさんの間で、とまどいもあるかもしれません。そこで、この分別収集を理解していただくため、ビン・カンを入れた袋にはスティッカーを用意しました。めんどくとも、ご利用ください。

ステッカーは、「ごみの分け方・出し方」とともに、三月二十五日号の広報に折り込んでお届けします。ステッカーがなくなつたら、袋にビン・カンと書いてください。



収集日程については、今回折り込んだ
収集日程表をご覧ください



昨年度一年間に埋め立てられたごみの量は、可燃物の焼却灰約一万二千トンと、処理された後の不燃物約五千トンでした。有価物を分けずに埋め立てると、これに五千七百トンが加わることになります。有価物の分別が処分場を長く使うために必要なことが理解いただけると思います。

生かせば資源

有価物は、資源の少ない日本にとっては貴重な資源でもあります。地球環境の保全の立場から、世界的に少エネルギー化が叫ばれています。有価物は、この省エネルギー化に貢献しています。例えばアルミニウム缶で地金を作ると、原料から作る場合と比べ、二パーセントのエネルギー(電気)で済むと言られています。ガラスや鉄も再利用されることで、エネルギーの節約につながっています。

ただ捨ててしまうと、巨額の処

分別収集は地球を救う

平成二年四月一日から、不燃物をビン・カンとその他の不燃物に分けて集めます。これまで不燃物の収集は、月一回行っていましたが、新しい方法では、ビン・カンの収集を月一回、その他の不燃物を月一回収集することになります。ごみの減量化・資源化と埋め立て処分場をできるだけ長く使えるよう、分別収集にご協力ください。

募集

●学童保育室指導員 教育財務課 ☎内線304

両親が働き、當時留守になる家庭の児童を預かる学童保育室では、健康で明朗な臨時指導員を募集。勤務場所：各小学校内に設置の学童保育室 勤務時間：放課後～午後6時（春・夏・冬休み期間は8時間勤務）資格：児童の養育に関する知識と経験がある方または保母か教員の資格を有する50歳以下の方 定員：若干名 申込：3月20日（火）までに履歴書（写真添付）を持参し同課へ（郵送可）※社会保険・雇用保険あり。

臨時保育

保育課 ☎内線294

勤務場所：市立の各保育園 勤務期間：4月1日から1年間 時間：午前8時30分～午後5時（土曜日は午後5時30分まで）資格：保母資格を有する方 申込：履歴書（写真添付）を持参し直接同課へ

快適な環境づくりの作品

ポスター・写真を募集。締切日：4月20日（金）※詳細は県西部環境管理事務所（喜多方町一一一 ☎22-8681）へ。

募集

いけ花展作品 第42回市民文化祭いけ花展の出品者を募集。期間：▽前期 5月10日（木）～12日（土）▽後期 5月13日（日）～14日（月）会場：丸広百貨店6階催事場 定員：各十二人 参加費：▽前期 千円 ▽後期 二千円 申込：3月22日（木）、午前9時から参加費を添えて同館へ

催し

児童文学講演会 古谷公民館 ☎内線35-1-834 日時：3月22日（木）、午前10時～正午 対象・定員：市内在住か在勤の成人・三十人（先着順） 経費：無料 講師：児童文学作家 花井泰子氏 申込：3月12日（月）、午前9時から同館へ（電話可）

教室

歴史講座 農政課 ☎内線463-4 日時：3月25日（日）、午前8時～11時 売り切れ次第終了 会場：農業ふれあいセンター前 添え同館へ

相談

身障ちえ連れの巡回相談 福祉課 ☎内線873-4 日時：3月28日（水）、午後1時30分～4時 会場：霞ヶ関北公民館 相談員：長沢 晟氏（身障）・吉田

仲間になりませんか

硬式テニス大会 市テニス協会主催。4月7日（日）～12日（月）、午前9時から同館へ（電話可） 順 経費：五百円 申込：3月15日（木）、午前9時30分～午後1時45分 対象・定員：市内在住か在勤の成人・三十人（先着順） 経費：五百円 申込：3月15日（木）、午前9時30分～午後1時45分

参加してみませんか

農業ふれあいセンター 上手な寿司の作り方実践教室 「巻物」「握り」の握り方など。日時：3月26日（月）、午前10時30分～午後1時 定員：二十人 経費：一千円 申込：3月15日（木）、午前9時30分～午後1時45分

みんな輝けコンサート

桑田・清原選手（プロ野球）、キンギョ選手（プロテニス）のトレーナー・成瀬臣彥氏の講演。希望者は当日直接会場へ。無料。会場：市役所7階AB会議室 日時：3月23日（金）、午後6時30分～午後6時から

電話で連絡してください

チェック 問合先 連絡してください

□水道	水道部料金課（☎23-3065）	●上下水道使用者変更 ※転出の3日前までに検針票・領収書などに書いてある水道番号を電話で連絡してください。
□ごみ	環境業務課（☎内線241）	●多量のごみが出るときは、直接清掃センターへ搬入するか、許可業者へ依頼して運んでください。 (東清掃センター☎23-2645・西清掃センター☎32-8744)
□ペット(犬)	健康課（☎内線255）	●畜犬登録してある犬は電話で登録抹消の連絡をしてください。 ※転出先の市役所または保健所に旧鑑札を提出。

その他

チェック お知らせください

□郵便（転送手続き）	●引っ越しの1週間くらい前に郵便局にある転居はがきで手続きをしてください。1年間、新住所へ転送されます。 ※くわしくは、川越郵便局☎25-5214か、上福岡郵便局☎64-5841（川越市356の地区にお住まいの方）へ。
□電話（☎116）	●はやめに電話で移転先、引越予定日をお知らせください。くわしくは（局番なし）☎116へ。 ※希望により、3ヶ月間、新しい電話番号の案内を入れることもできます。
□電気 東京電力川越営業所 ☎22-3211	●はやめに電話で〔御使用料のお知らせ〕にある「お客様番号」「お名前」「引越予定日」をお知らせください。
□ガス	●営業所、販売店に連絡してください。 ※引っ越し先のガスの種類とガス器具について確認してください。

かわごえをいい想い出に…

引っ越しシーズン到来、手続きお忘れなく！

花だよりがあちらこちらから届くこの時期は、引っ越しシーズンでもあります。荷づくりや転居先の手配など、気せわしさに紛れて、必要な手続きもつい忘れるがち。

そこで「転出」の際に必要となる主な手続きをまとめた引っ越しチェックで確認を。

引っ越しチェックで手続きすっきり、新天地へ出発！



引っ越し前に窓口へ

チェック	窓口・問合先	手続きなど	持参するもの
□住民票 □国民健康保険 □国民年金	市民課（☎内線800）・出張所	●転出届を提出してください。 (届け出は転出の14日前から) 正午～午後1時は休み ※その場で転出証明書を交付。転出先の市町村で転入届を出すとき、この証明書が必要です。 ※国民年金は転出先住所地の年金担当課へ手帳を持参し、住所変更をしてください。	□印鑑（認め印で可） □印鑑登録証（登録者のみ） □国民健康保険証（加入者のみ）
□公立小・中学校（転校）		※上記転出証明書を… →現在の学校へ持っていく、提示してください。 →学校から在学証明書、教科書給与証明書をうけ、転出先の学校へ。	
□老人保健医療 □老人・障害者・乳児医療	保健年金課（☎内線875）・出張所	●受給資格喪失届書を提出してください（老人保健医療のみ）。 ●受給者証を返してください。	□印鑑（老人保健医療のみ） □医療受給者証
□児童手当	福祉課（☎内線293）・出張所	●児童手当消滅届を提出してください。 ※市民税課・各出張所で児童手当所得等証明書の交付を受け、転出先担当課へ。	□印鑑
□児童扶養手当	福祉課（☎内線293）	●児童扶養手当県外転出届を提出してください。 ※郵便局から手当金を受けている方は不要。転出先で手続きを。	□印鑑 □手当証書
□原付自転車（125cc以下） □小型特殊自動車・ミニカー	市民税課（☎内線831）	●ナンバープレートを返してください。 ●軽自動車税廃車申告書を提出してください。	□印鑑 □標識交付証明書 □ナンバープレート
□浄化槽	環境整備課（☎内線245）	●浄化槽の使用が一時中止となることをお知らせください。	□印鑑

電話で連絡してください

チェック	問合先	連絡してください
□水道	水道部料金課（☎23-3065）	●上下水道使用者変更 ※転出の3日前までに検針票・領収書などに書いてある水道番号を電話で連絡してください。
□ごみ	環境業務課（☎内線241）	●多量のごみが出るときは、直接清掃センターへ搬入するか、許可業者へ依頼して運んでください。 (東清掃センター☎23-2645・西清掃センター☎32-8744)
□ペット(犬)	健康課（☎内線255）	●畜犬登録してある犬は電話で登録抹消の連絡をしてください。 ※転出先の市役所または保健所に旧鑑札を提出。

その他

チェック	お知らせください
□郵便（転送手続き）	●引っ越しの1週間くらい前に郵便局にある転居はがきで手続きをしてください。1年間、新住所へ転送されます。 ※くわしくは、川越郵便局☎25-5214か、上福岡郵便局☎64-5841（川越市356の地区にお住まいの方）へ。
□電話（☎116）	●はやめに電話で移転先、引越予定日をお知らせください。くわしくは（局番なし）☎116へ。 ※希望により、3ヶ月間、新しい電話番号の案内を入れることもできます。
□電気 東京電力川越営業所 ☎22-3211	●はやめに電話で〔御使用料のお知らせ〕にある「お客様番号」「お名前」「引越予定日」をお知らせください。
□ガス	●営業所、販売店に連絡してください。 ※引っ越し先のガスの種類とガス器具について確認してください。

転居先で済ませておくと便利です

チェック	行ってください
□運転免許証	●転出先の警察で住所変更をしてください。
□自動二輪（125cc超） □自動車	●管轄が変わった場合は転出先の陸運事務所へ。
□軽自動車（3・4輪）	●転出先の軽自動車検査協会へ。

引っ越しは
準備が決め手
おはやめに

文化財を訪ねて郷土を愛す

20th Anniversary

川越市教育委員会では、毎年市内の小・中学校に「文化財愛護モデル校」を委嘱、二十年目を迎えた今年度は、月越小学校、大東東小学校、霞ヶ関東小学校、霞ヶ関西小学校の四校が、それぞれの郷土について調べました。

郷土づくりの歩み

「文化財愛護モデル校」は、昭和四十五年度に文化庁から「文化財愛護モデル地区」の指定を受けたことを契機として始まりました。モデル校になった小・中学校は、生徒と先生がテーマを決め、力を



職人の技に見入る生徒たち

合わせて地区の歴史、民俗、文化などを調査、研究し、郷土の学習をしています。生徒たちは自分自身で足を運び、見た分たちの手で作ることばかりではなく、これから郷土づくりにとって大切な経験を培うことに

もなるのです。

郷土の人々に会う

モデル校のひとつ月越小学校の歴史クラブは、地区的伝統工芸について調べました。調査に訪ねたノコギリ職人さんの仕事場では、生徒たちのためと、本物の仕事を見せてくれたそうです。

仕事を始まるとき、生徒は一人もおしゃべりしないで見入っていたとか。見た目は怖いが話すと優しく、真剣に打ち込む職人さんの「職人気質」を生徒

です。一方ではなくなりつつある伝統もあります。そんな状況の中で「私たちが守らなければ、残らない」と感想も見られるなど、生徒たちは多くの人々の絶え間ない努力と自分たちにとって何ができるか

と話しています。

20年におよぶ蓄積が

てきた伝統が

現在の私たちの生活を支えていますが、一方ではなくなりつつある伝統もあるのです。そんな状況の中で「私たちが守らなければ、残らない」と感想も見られるなど、生徒たちは多くの人々の絶え間ない努力と自分たちにとって何ができるか

と話しています。

文化財愛護モデル校とその研究 20年の歩み

20年におよぶ蓄積が



S45 大東中学校 民俗資料の収集

川越小学校 川越祭り
大東東小学校 大東地区のぶどう(巨峰)栽培
広谷小学校 下広谷地区と文化財
砂中学校 新河岸地区の移り変わり

武藏野小学校 武藏野地区に見られる農家のうつりかわり
霞ヶ関北小学校 霞ヶ関地区的歴史を伝えるもの
初雁中学校 川越市に残る民話、伝説とその劇化の試み
高階中学校 高階地区の移り変わり

第一中央小学校 川越の祭り離子の研究
月越中学校 川越の蔵造り
福原中学校 菓子屋横丁の今と昔
福原地区の旧街道と農業

高階西小学校 学区内の移り変りと昔を伝えるもの
霞ヶ関西小学校 笠幡地区的養蚕農家
上戸小学校 河越館について

芳野小学校 芳野地区的歴史と文化財
南古谷小学校 南古谷の昭和史
霞ヶ関小学校 霞ヶ関地区的歴史と文化財

大塚小学校 大塚地区の文化財
古谷中学校 名細郷土史

今成寺小学校 大塚小学校区四半世紀の変遷を探る
寺尾小学校 古谷を楽しく知ろう
高階小学校 富士見中学校区の文化財

日越小学校 今成小学校区のうつりかわり
大東東小学校 寺尾地区的歴史
霞ヶ関西小学校 川越街道について

月越小学校 月越小学校のまわりに残る伝統工芸
大東東小学校 大東地区の歴史
霞ヶ関西小学校 半塚古墳
笠幡地区的歴史を伝える文化財

S46 古谷小学校 古谷地区の地名
城南中学校 石仏の調査、歴史公園作成

S47 高階小学校 高階地区的総合調査
第一中学校 川越の歴史

S48 山田小学校 山田地区的文化財
名細中学校 郷土の歴史

S49 南古谷小学校 南古谷の昭和史
霞ヶ関小学校 霞ヶ関地区的歴史と文化財

S50 大東西小学校 大東西地区的文化財
名細小学校 名細郷土史

S51 芳野小学校 郷土を知ろう

S52 泉小学校 泉の文化と伝説

S53 福原小学校 ふくはらの文化財

S54 高階北小学校 高階地区における文化財の調査と研究

S55 古谷小学校 チンチン電車の通っていたころ
霞ヶ関南小学校 川越の歴史
仙波小学校 私たちの仙波
東中学校 古谷・南古谷地区的石仏

S56 山田小学校 山田地区的祭り
大塚小学校 江戸時代の川越の町について
名細小学校 名細地区的歴史を物語るもの
芳野中学校 芳野地区的石仏

H1 日越小学校 月越小学校のまわりに残る伝統工芸
大東東小学校 大東地区の歴史
霞ヶ関西小学校 半塚古墳
笠幡地区的歴史を伝える文化財

イラストコーナー



帯津尚子さん
上寺山

人を守る、 人はぐくむ地球を守る



近年、バングラデシュ、アルメニアなどで災害により、大きな被害がもたらされたことはまだ記憶に新しいと思います。こうした広範囲の災害には、各国の協力による救援が行われ、これは災害を未然に防ぐために国際的な協力が求められることを意味します。このことを受けて国際連合では、国際協調行動を通じて世界の自然災害による人命・社会・経済などの被害軽減のため、一九九〇年から十一年間を「国際防災の十年」と定め、防災事業の推進を呼びかけることになりました。スローガンが公募され、全国から集まつた五七七〇点の作品から、土井芳子さん

が選ばれました。土井さんは「地理の授業で自然や環境について学習したことを使って話す中で、自然や科学が好きなことと親子の交流の目的から、土井さん宅では、よく自然のことや社会の出来事について話を合っているそうです。お父さんの帰りが遅い時は週末に会話を持つようになっていました。短い言葉の中には、こうして学校や家庭から学ぶことが濃縮されていると言えるのではないか。

防災は、自然環境とのかかわりを無視できません。そして、そのためには地球規模の考えを持たなければなりません。

防災先進国と言われる日本の果たす役割には熱い期待が寄せられ、同時にそれに意の向いたところには、私たち一人ひとりが防災についての意識を高めることが必要になるのです。

シリーズ⑯ あよりコーナー

日本通の川越人です

45歳 脇田本町 英国出身



英国から来日し、川越市生まれの妻と二人で仕事を始めて10年になります。妻が生まれ育った川越が気に入り、今では市内の名所・旧跡について案内ができるくらいに詳しくなりました。来て間もないころの川越は、年をとった街という印象がありました。仕事始めの頃は、川越市生まれの妻と一緒に川越を歩き、市内の名所を案内していました。その後、妻が就職したことで、川越を離れることになりました。しかし、川越への想いは変わらず、今でも川越を訪れることが多いです。

募集 しみん紀行 旅の空から

旅先での出来事などをつづった紀行文(300字程度)と写真を送ってください。

川越市(109.18km)の話題から

フォト・トーク



何気ないことなのだけれど見える人には見えないこと

駅の改札付近で待ち合わせる人に視覚障害者がぶつかる光景を見かけました。健常者の注意が待つ相手などに注がれている時など、無意識のうちに通過の障害になつて見つかるかも知れません。入場料金によって点字ブロッカは大切なものです。混雑する所などでも点字ブロッカ回りにゆとりを。見える人は見えないことを見落としがち。

歩く目的がひとつ増えて

三月一日、待望の市立博物館がオープンしました。初雁公園辺りにしばらく行っていないという方ゲートボールに出かけた時などに題材を探す関根さん、暖かくなるこれから季節は忙しくなりそう。いいものが身近なところで見つかるかも知れません。入場料金によって点字ブロッカは大切なものです。混雑する所などでも点字ブロッカ回りにゆとりを。見える人は見えないことを見落としがち。

みんなの作文

十月のおわりごろアブラナのたねをまきました。朝顔やひまわりのたねとくらべるととても小さかったです。

何日かたつとめがでてふたばがひらきました。ふたばはとてもかわいくてハート形をしていました。わたしは、こんなに小さくてもあとから大きくなるかなと思いました。

わから林さんは、アブラナは、さむい冬も雪にもまけないで、春にはきれいな黄色い花をさかしてくれると思います。

わが街川越 番組案内

一部変更になることもあります。
38ch テレビ埼玉 毎週火曜日 午後 5:30~5:40
午後10:00~10:10

アブラナ

牛子小2年 ゆか佳利
立野のりつ



それから、月曜日はいつも理科の時間にかんざつに行きました。少しすつ大きくなっているのであんしんしました。

三学きになつてす

ぐ、アブラナのようすをしらべにいたら、アブラナはあまりそだつていませんでした。さむいからだと思います。

「アブラナは、かれてしまつたで

と聞きました。だいたい人がかれてしまつたと答えました。みん



安比奈新田の水久保と狭山市の柏原との境にかかるています小さな橋を「ゴゼ橋」と呼んでおります。

むかしは四月の十四日、十五日ごろになりますと春のお日待といつて農家の人たちは仕事を休み、各神社のおまつりに参加して二日間を楽しくすごす行事がありました。

また、このころには吉田や鯨井あたりからゴゼさんがやってきて歌やものがたりを聞かせて

りますだけに深く

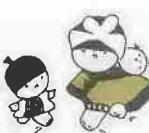
絵と文 池原昭治氏

立春も過ぎ、雨水、啓蟄と季節は着実に進んでいます。どこから春の小さな訪れる声が聞えてきそうだ。しかし、いい陽気になつたからといって、寒さは戻つてくる。行きつ戻りつの気候の変化、まだまだ、油断はできない。また、この時期はクシヤミ、鼻みず、目のかゆみなど、また花粉に苦しめられる。予防と対策はないものかと思い巡らす方も多いかも。外出から帰った時のコートや干したふとんは、はいたり、ふるつたりせずに吸じんする。また、うがいの励行も心掛けたいもの。

川越の伝説

ゴゼ橋（霞ヶ関地区）

③



〔市教育委員会社会教育課刊行
「川越の伝説」から引用〕

きりたつてあると、とき入間川沿いの道を歩いており、安比奈の水久保あたりの細い木の橋を渡りかけたとき、あ

いとあります。この橋はゴゼ橋といわれるようになつたということです。この橋はゴゼ橋といわれるようになつたといつて、寒さは

3.13(火) 博物館によるこそ



3月1日にオープンした市立博物館は、一巡するだけで川越の歴史が見てくると、にぎわっています。

番組では、館内展示のあれこれほか、知って得する博物館の利用法、オープ

ンの記念イベントの様子などを紹介します。

3.20(火) 新年度予算を語る

世界が大きく変動する近年、社会は著しい発展を遂げています。しかし国際化・情報化が進む反面で生活尊重の傾向や高齢化などの情勢も見逃すことはできません。番組では、こうした変化に対応しながら地域の特色を生かした「まちづくり」に向けて編成された新年度の予算について川合喜一市長が語ります。

3.27(火) 資源を大切に

ビン・カン分別収集が始まります

私たちの生活の中から、毎日排出されるさまざまなゴミ。このゴミを処分するために、自治体では多額のお金を使っています。しかし、ゴミの中にもビンやカン、新聞紙などリサイクルとして役に立つ資源は多いのです。番組では、資源の再利用と経費削減のため、4月から始まるビン・カンの分別収集をレポート。

